学校番号	４１５

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	精選古典探究						
副教材等	新精選古典文法三訂版（東京書籍）、古典アチーブ２三訂新版（桐原書店）、読んで見て聞いて覚える重要古文単語３１５四訂版（桐原書店）、新訂国語図説六訂版（京都書房）、記入して覚える古典文法クリアノート（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「古典」と聞くと、遠い昔の、自分とは何ら関係のない世界だと感じる人は少なくないでしょう。しかし、現代を生きる私たちがそうであるように、遠い昔を生きた人々も、自然を愛し、文化を作り、家族や友人とつながり、そして恋愛に苦悩していました。古典の世界を覗くことで、きっと新しい自分に出会えるはずです。
・予習として必ず本文を読んでおくこと。何より授業の後の復習が大事です。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に 表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国 の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2)　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典など を通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め， 自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社 会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点			

観点の趣旨	（1）　言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア　古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。 イ　古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 ウ　古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 エ　古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色に　ついて理解を深めること （2）　我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア　古典などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など 外国の文化との関係について理解を深めること。 イ　古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ　時間の経過による言葉の変化や，古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響 について理解を深めること。 エ　先人のものの見方，感じ方，考え方に親しみ，自分のものの見方，感じ方，考え 方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。	（1）　読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア　文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えること。 イ　文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ　必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章 の構成や展開，表現の特色について評価すること。 エ　作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，そ の内容の解釈を深め，作品の価値について考察すること。 オ　古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げた り深めたりすること。 カ　古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間， 社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。 キ　関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に，自分のものの 見方，感じ方，考え方を深めること。 ク　古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して，我が国の 言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。 （2）　（1）に示す事項については，例えば，次のような言語活動を通して指導するものとす る。 ア　古典の作品や文章を読み，その内容や形式などに関して興味をもったことや疑問 に感じたことについて，調べて発表したり議論したりする活動。 イ　同じ題材を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ，思想や感情などの共 通点や相違点について論述したり発表したりする活動。 ウ　古典を読み，その語彙や表現の技法などを参考にして，和歌や俳諧，漢詩を創作 したり，体験したことや感じたことを文語で書いたりする活動。 エ　古典の作品について，その内容の解釈を踏まえて朗読する活動。 オ　古典の作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ，その成果を発表したり 報告書などにまとめたりする活動。 カ　古典の言葉を現代の言葉と比較し，その変遷について社会的	古典に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。

		背景と関連付けながら古典などを読み，分かったことや考えたことを短い論文などにまとめる活動。 キ　往来物や漢文の名句・名言などを読み，社会生活に役立つ知識の文例を集め，それらの現代における意義や価値などについて随筆などにまとめる活動	

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	古文編　第Ⅰ部　1　説話 ［教材］ ・『宇治拾遺物語』 検非違使忠明のこと	a： ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)ア】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などににについて理解している。【(2)イ】 b：〔読〕 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【(1)イ】 c： ・清水寺について調べたことや知っていることについて話し合おうとしている。	観察 ワークシート 小テスト	観察 ワークシート 小テスト	観察 ワークシート 小テスト
	古文編　第Ⅰ部　　2　随筆(一) ［教材］ ・『方丈記』 行く河の流れ	a： ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)ア】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。【(1)イ】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】 b：〔読〕 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【(1)イ】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。【(1)カ c： ・仏教的無常観に基づく、作者の考えについて理解を深めようとしている。〃	観察 ワークシート 小テスト〃	観察 ワークシート 小テスト〃	観察 ワークシート 小テスト〃

	古文編　第Ⅰ部　3　物語(一) ［教材］ ・『伊勢物語』 初冠	a: ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。【(2)ア】 b:〔読〕 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。【(1)カ】 c: ・平安時代の貴族の暮らしに興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもとうとしている。	観察 ワークシート 小テスト	観察 ワークシート 小テスト	観察 ワークシート 小テスト
	古文編　第Ⅰ部　6　日記 ［教材］ ・『更級日記』 門出	a: ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。【(1)ウ】 b:〔読〕 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【(1)ウ】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。【(1)カ】 c: ・『更級日記』や作者について関心をもち、女流日記文学への理解を深めようとしている。	観察 ワークシート 小テスト	観察 ワークシート 小テスト	観察 ワークシート 小テスト
	古文編　第Ⅰ部　5　物語(二) ［教材］ ・『源氏物語』 光源氏の誕生	a: ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。【(1)エ】 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。【(2)ア】 b:〔読〕 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【(1)イ】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。【(1)オ】 c: ・平安時代の貴族文化を踏まえて、登場人物の境遇や心情を理解しようとしている。	観察 ワークシート 小テスト	観察 ワークシート 小テスト	観察 ワークシート 小テスト
	古文編　第Ⅰ部　7　物語(三) ［教材］ ・『大鏡』 競べ弓	a: ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。【(1)イ】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。【(1)ウ】 b:〔読〕 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。【(1)ア】	観察 ワークシート 小テスト	観察 ワークシート 小テスト	観察 ワークシート 小テスト

		・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。【(1)カ】 c: ・歴史物語の特徴を踏まえ、人物や事件についての作者の視点を考えようとしている。			
	漢文編　第Ⅰ部　1　故事・逸話 ［教材］ ・知音	a: ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)ア】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【(2)イ】 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。【(2)ウ】 b:〔読〕 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。【(1)ア】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。【(1)オ】 c: ・故事成語に興味を持ち、日本の言語文化に与えた影響について理解しようとしている。〃	観察 ワークシート 小テスト	観察 ワークシート 小テスト	観察 ワークシート 小テスト
	漢文編　第Ⅰ部　3　史伝―『史記』 本紀（司馬遷） ［教材］ ・項王の最期 （一）四面楚歌す （二）我　何の面目ありて之に見えん	a: ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。【(1)ウ】 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。【(2)ウ】 b:〔読〕 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。【(1)エ】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章を読み、その内容や形式などに関して興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりしている。【(2)ア】 c: ・『史記』について興味を持ち、登場人物の行動や心情について考えようとしている。	観察 ワークシート 小テスト	観察 ワークシート 小テスト	観察 ワークシート 小テスト

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・読むこと　　…　（　　７０　　）時間